

Onlineでできることも…

Hiroshi Abe

ひとりごとです。「オンラインで合唱したい」って事で皆さん様々な取り組みをされてます。君管(※)など見てると一人合唱(合奏)のビデオが沢山上がってますが、殆どがパラ収録して編集製作(multitrack)してます。でも、やりたいのはそれじゃない！ みんなで指揮に合わせて、せーので歌いたいんですよ。

(※君管 = you + tube とのこと(;''))

ただ、現在の通信環境などを考えると遅延のため指揮(又は伴奏)に合わせて歌うことはほぼ不可能です。じゃ何が出来るか？ アカペラ畑のワタクシが思いつくのは「せーので歌えなくてもブラッシュアップできる練習」です。

例えば、1.和音感覚を磨く、2.母音の響かせどころを揃える、と言ったとこはいかがでしょうか？ オンラインWeb会議システムを使って、カデンツなんかで母音やキーを変えて歌う。もちろん縦は揃わないので、1拍ずつ止めてキチンとハマってるか確認しながら次の音に進む。(誰かピッチパイプでキーのロングトーン吹いてw) 普段歌ってる曲で4声の歌詞が揃っているフレーズで1拍ずつ縦和音を確認。(ハマるまで時間かかるので適宜カンニングブレスを…歌詞が揃ってないと母音もバラバラでハモってんのかどうか分かりにくい) なんとなく音が気持ち悪い時は大抵ルート&5度のハモがズレてるw。

和音が動くと同じ音でも役割が違うので、1拍ずつ常に他のパートを意識して歌えるようになれば収穫は大きいです。

◎サンプル①：グレーテスト・ショウマンより

<https://youtu.be/RwUkjPUqVyM>

冒頭と2分50秒ぐらいからの展開は和音がきっちり決まっていますごく気持ちが良い！ また音の響かせどころ(音色と言うか)ですが、各パートとも同じところに揃えた方が良いと思います。極端な話、ユニゾンした時に1人の音に聞こえるぐらいまで揃えたい(^_^)；

Bassで後ろにくぐもった発声をする方がたまにいらっしゃいますが、テノールのようにBrightな響きにされた方がよくハモります。おでこに向かって音を出そう！

◎サンプル②：You raise me up

<https://youtu.be/NhpygcNMAso> ↗

100人以上のコーラス(なんと半分程がBass!)ですが、冒頭のユニゾンは30人ぐらいにしか聞こえない。それほど母音と響きが揃っている。

上記2つのサンプルでは「いかに自制心を持って歌うか」という所も見て欲しい。MAXでも85%の出力で、キチンと自分の声をコントロールしているのです。

Web会議システムでの練習なのでいろいろ制約はあると思いますが、一方でリアルタイムでやり取り出来るメリットも大きいです。自分の声を誰かに聞いてもらってすぐリアクション貰えるだけでも練習になります。(私の所属してるカルテットでは以前「耳役」が居て5人で活動してました)

1人だと暗譜もなかなか進みませんし(爆)、仲間と一緒に楽しく先に進んでいけそうな気がしています。いまキチンと練習しておけば、きっと年末には充実したステージをオーディエンスに届けることが出来ることでしょう！

(youtubeに直接リンクを貼れませんでした。コピーで聴いてみてください。)

これまで合唱を心から楽しんできたでしょうか

JAMCA個人会員 菅野 哲男

「おんがく広場」発行、おめでとうございます。そして、いつものことながら余計な「ひとこと(一文)」を付け加えると…

普段なら、練習、運営、演奏会等の合唱団活動で慌ただしい日常だったことだろうが、COVID-19のせいで突然、生活に空白が訪れた合唱団のみなさん、このような得難い機会にこそ、日本の合唱界や自分たちの合唱団活動を振り返り、考えを巡らせてはいかがでしょうか。例えば、

- ①これまで合唱団活動を心から楽しんできたかどうか？
- ②練習後の一杯が無くて楽しい練習だったろうか？
- ③演奏する曲を楽しんで歌っていたらどうか？
- ④周りの人たちは、皆さんの演奏を聴いて楽しんでくれていると自信を持って言えるだろうか？
- ⑤合唱団の選曲に不満を持って退団する、という声が聞こえてくるが(私の空耳であって欲しいと切に願う)、そんな気配がみなさんの身の回りに無いだろうか？

などなど、男声合唱の将来を輝かしいものにするべく、この機会にみんな考えてはいかがでしょうか。(JAMCA = 全日本男声合唱協会)